

平成23年度 インフルエンザ予防接種について



＜インフルエンザとは＞

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することにより起こります。インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみなどをすることにより、ウイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。

地域差はありますが、インフルエンザの流行は1月上旬から3月上旬が中心です。

典型的なインフルエンザの症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などで、のどの痛み、咳、鼻水などもみられます。普通のかぜに比べて全身症状が強いのが特徴です。気管炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのもインフルエンザの特徴です。

また、インフルエンザは流行が始まると、短期間に小児から高齢者まで膨大な数の人を巻き込むという点でも、普通のかぜと異なります。さらに、普通のかぜが流行しても死亡する人はあまり増えませんが、インフルエンザが流行すると、特に65歳以上の高齢者や慢性疾患患者で死亡率がふだんより高くなるという点でも普通のかぜとは異なります。



1. インフルエンザの予防

予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。これは世界的にも認められている最も有効な予防法です。

インフルエンザは空気中に拡散されたウイルスによって感染します。感染予防のためには、人込みは避けましょう。また、常日頃から十分な栄養や休息をとることも大事です。インフルエンザ感染の広がりには空気の乾燥が関連しています。暖房器具を使用する際には空気の入れ替えをこまめにし、加湿器などを使って室内の加湿に心がけましょう。

また、外出時のマスクや帰宅後のうがい、手洗いは、普通のかぜの予防と併せておすすめします。

2. インフルエンザ予防接種の有効性

インフルエンザ予防接種の有効性は世界的にも認められています。我が国においても高齢者の発病防止や特に重症化防止に有効であることが確認されています。

予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間ほどかかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間とされています。より効果的に有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前の12月中旬頃までに接種をうけておくことが必要です。

また、インフルエンザウイルスは毎年変化しながら流行するため、毎年流行が予測されるウイルスにあった予防接種を受けておくことが有効です。我が国のインフルエンザ予防接種は、近年の状況をみると流行したウイルスを予防するのに効果的でありました。一般的には、65歳以上の方は1シーズン1回の予防接種で効果があります。

3. インフルエンザ予防接種の副反応

予防接種の注射の跡が、赤みを帯びたり、はれたり、痛んだりすることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。また、熱が出たり、寒気がしたり、頭痛、全身のだるさなどがみられることもあります。通常2～3日のうちに治ります。まれに接種直後から数日中に、発疹、じんましん、紅斑、かゆみなどが現れることがあります。

非常にまれですが、ショックやアナフィラキシー様症状(じんましん、呼吸困難、血管浮腫など)が現れることがあり、そのほとんどは接種後30分以内に生じます。

4. 接種対象者など

法律で決められたインフルエンザの予防接種の対象者は、①65歳以上の方、②60歳以上65歳未満の方で心臓やじん臓、呼吸器に重い病気のある方など(障害者手帳等が必要)です。

しかし、予防接種を受けることの義務はなく、ご本人が接種を希望する場合のみに予防接種を行います。また、接種を受けるご本人が、麻痺などあって同意書に署名ができない場合や、認知症があつて正確な意思の確認が難しい場合などには、家族やかかりつけ医によって、特に慎重にご本人の接種意思の有無の確認を認め、接種適応を決定する必要があります。(最終的に確認が出来なかった場合には、予防接種法にもとづく接種はできません)

インフルエンザ予防接種のできる医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
＜川南町＞		＜高鍋町＞	
喜多医院	27-1711	内田医院	23-0041
糸井医院	27-0032	海老原総合病院	23-1111
川南病院	27-4111	高鍋春光会病院	23-0013
林クリニック	27-1678	城戸医院	23-0323
尾鈴クリニック	27-2799	坂田病院	22-3426
川南山口整形外科医院	27-3883	大森内科医院	22-0055
国立病院機構 宮崎病院	27-1036	黒木内科医院	23-2882
＜都農町＞		鶴外科胃腸科	23-2121
高嶋医院	25-0062	崎浜胃腸科医院	22-3345
都農町国民健康保険病院	25-1031	たかやま小児科	23-4423
前田医院	25-1115	やまぐち脳神経外科	32-5555
ながとも医院	21-2520	永友胃腸科内科医院	22-3320
つねよしクリニック	25-3036	野津手内科医院	22-2104
＜新富町＞		山口整形外科医院	22-3157
北村医院	21-5611	永友クリニック	22-3375
小村医院	33-0120	おがわクリニック	32-5726
児玉医院	33-0700	＜木城町＞	
大山脳神経外科クリニック	26-8111	木城クリニック	32-3322
新富診療所	33-4130		
たにはた整形外科	33-6631		



※ 注意事項 ※

1. 予防接種を希望される方は、事前にかかりつけの医療機関に必ず電話連絡(予約)してお受け下さい。
川南町在住の方で上記(4)の接種対象者に該当する方は、平成23年10月11日から平成24年1月31日までの期間、1人当たり1回分2,100円の町からの補助があります。なお、2回接種する場合は、1回のみが補助の対象となります。接種料金(自己負担額)については各医療機関でご確認ください。
2. 上記の医療機関以外でも1人当たり1回分2,100円の町からの補助がありますが、接種料金(自己負担額)は各医療機関へご確認ください。
3. 接種後に記録をしますので、老人健康手帳または健康手帳を医療機関にご持参下さい。(手帳を持ってない方、または紛失された方は保健センターまでご連絡下さい。)
4. 医療機関において予診票の記入がありますので、必要な方は眼鏡をご持参下さい。また、氏名・住所を確認しますので、保険証もあわせてご持参下さい。

＜お問合せ先＞

川南町保健センター TEL 27-8009 (直通)